

再評価実施要件		○ 事業採択後 ( 年 ) ● 再評価後 ( 5 年 ) ○ その他 ( )					
1 事業概要	事業名	ときわ公園 都市公園事業					
	事業場所	宇部市大字沖宇部、大字上宇部、開三丁目、開四丁目、開五丁目、野中三丁目、則真三丁目及び亀浦一丁目					
	事業主体	宇部市	事業方法	● 国庫補助 ○ 単独			
	財源・負担割合	○ 国 50 % ○ 県 % ● 市町 50 % ○ その他 %					
	事業期間	《事業採択時再評価時計画変更時》 昭和 31 年度 ~ 平成 33 年度 《平成29年度》					
	総事業費 (内用地補償費)	《 15,100 百万円》 ( 16,100 百万円 ) ( 6,022 百万円 )	既投資額 (内用地補償費)	14,849 百万円 ( 5,474 百万円 )	進捗率 (用地補償費)	92 % (91%)	
	事業目的	常盤公園は、昭和31年度より事業に着手し、平成28年度までにスポーツ広場、緑と花と彫刻の博物館等、159haを供用開始しており、緑あふれる総合公園として、多くの市民に親しまれています。当公園は、動物や植物、花木や自然など多様な資源にふれあい、体感することで、生命や自然環境、歴史、文化芸術を誰もが楽しみながら学べる日本一の「自然体感テーマパーク」を目指し公園整備を進める。					
	事業内容	面積：189.4ha スポーツ広場、園路、野鳥観測所、橋、動物園、花壇、緑と花と彫刻の博物館、多目的広場、駐車場、ビオトープ池※1、森の中の彫刻展示場等 【残事業内容】 ビオトープ池、森の中の彫刻展示場、園路、多目的広場等					
(1) 2再評価の視点	社会的評価	常盤公園は、県内初の国の登録記念物（名勝地関係）であり、日本の都市公園100選、さくら名所100選、「21世紀に残したい日本の風景」総合公園としては第1位、美しい日本の歩きたくなるみち500選、シヨウブ苑の「池坊花道選100選」（平成27年1月）、そして新日本歩く道紀行100選シリーズにおける「文化の道100選」（平成27年10月）、常盤湖が「世界かんがい施設遺産」※2（平成28年11月）に登録されるとともに、次世代エネルギーを活用する取組が経済産業省から「ときわ公園次世代エネルギーパーク」※3計画として認定されました。平成24年7月に策定した「ときわ公園 緑と花の計画」※4では、市民とともに、常盤公園の豊かな自然環境を保全・再生しながら、新たに緑と花の創出を計画的にすすめることとしています。また、平成27年12月に策定した「宇部市観光戦略アクションプラン」※5において、常盤公園は重要な観光資源と位置づけており、「ときわ公園を核とした観光戦略」に取組むことにしています。さらに、平成28年2月に「ときわ公園活性化基本計画」※6を改訂し、ときわ動物園のリニューアルなど、総合レクリエーション及びアミューズメントパークとしての魅力も増え、癒し・憩いの場、また県内屈指の観光施設として多くの方々に愛されています。					
	当地区の社会経済情勢	常盤公園は、宇部市中心市街地より東約3.5kmに位置し、北は黒岩山の自然林があり、東は県営住宅などの住宅地、南には国道190号が接し、西は山口大学工学部、宇部工業高等専門学校や閑静な住宅街を形成している。周辺には、山口宇部空港や山口宇部道路（旧山口宇部有料道路）、山陽自動車道宇部下関線、JR宇部線常盤駅等があり、広域的な利用においても利便性が高い。					
	必要性	現在、常盤湖を中心とした水と緑あふれる空間の魅力さをさらに感じとることができるとともに避難路も兼ねた周遊園路の再整備を行っているところであり、今後も防災公園としての機能強化に努めた公園機能の充実が必要である。また、「ときわ公園 緑と花の計画」および「ときわ公園活性化基本計画」では、常盤湖を掌、拠点を見立て、それらを周遊園路でつないでいくプレスレットのような構成をイメージしながら、全体をつくりあげていく「緑と花と彫刻のプレスレット構想」を掲げ公園の魅力づくりによる入園者の増加と持続可能な公園運営を図るため、周遊園路の各拠点を整備が必要である。	中項目評価	a・b			大項目評価
	適時性	「ときわ公園活性化基本計画」に掲げる公園年間入園者数は、平成30年度以降に過去最高の80万人を目標としており、これに合わせた公園の魅力づくりにつながる早期整備が必要である。また、当公園は、広域避難地に指定されており、市民の防災意識が高まるなかで、避難路を兼ねた園路が老朽化しており、防災機能の強化のために、園路の早期整備が必要である。	中項目評価	a・b			大項目評価
地元の推進体制等の状況及び地元の意向	【地元の推進体制等の状況】 常盤公園を観光施設としてさらに活用するため、緑と花でいっぱいにする「緑と花を育て隊」、宇部が誇る財産である彫刻を守り・後生へと継承していく「うべ彫刻ファン倶楽部」、植物を愛好し各種行事を推進する「熱帯植物友の会」、観光ガイドやセミナー、学習会など幅広い活動を行っている「宇部市ふるさとコンパニオンの会」などのボランティア団体が集客力の増に努めており、公園としても更なる機能の充実が求められている。  【地元の意向】 「ときわ公園活性化基本計画」の来園者の意向調査では、市民が安心して利用できるよう周遊園路を整備するとともに利用者のための休憩場所やビューポイント案内などが求められている。「ときわ公園 緑と花の計画」の市民ワークショップでは、「ビオトープ池と駐車場の整備は両方必要」という意見が多く出ている。	中項目評価	a・b			大項目評価	

2 再評価の視点	事業の投資効果	<p>整備効果発現状況 (H29年度まで)</p> <p>計画面積189.4haのうち159haを供用している。本公園は、平成24年度の年間約42万人から平成28年度で年間約70万人に利用者が増加し、遊園地や動物園、彫刻や自然を楽しみながらの散策やジョギングなど、幅広く利用されている。</p>																																																														
	(2) 事業の投資効果分析	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">主な項目</th> <th rowspan="2">再評価時 (基準年：H24)</th> <th colspan="2">再評価時 (再々評価)</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>全体事業費 (基準年：H29)</th> <th>残事業 (基準年：H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5">便益 (B)</td> <td>①直接利用価値便益</td> <td>59,164</td> <td>124,744</td> <td>1,125</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②間接利用価値便益</td> <td>55,976</td> <td>69,639</td> <td>272</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③料金収入便益</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>④その他の便益</td> <td></td> <td></td> <td>-49</td> <td></td> </tr> <tr> <td>総便益</td> <td>115,140</td> <td>194,383</td> <td>1,348</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="4">費用 (C)</td> <td>①事業費</td> <td>32,363</td> <td>40,427</td> <td>999</td> <td></td> </tr> <tr> <td>②維持管理費</td> <td>28,520</td> <td>38,029</td> <td>237</td> <td></td> </tr> <tr> <td>③その他</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>総費用</td> <td>60,883</td> <td>78,456</td> <td>1,236</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">費用便益比 (B/C)</td> <td>1.9</td> <td>2.5</td> <td>1.1</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>【費用対効果分析手法】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「改訂第4版 大規模公園費用対効果分析手法マニュアル」(平成29年4月：国土交通省都市・地域整備局)により算出している。</li> <li>・基準年度は平成29年度である。</li> </ul> <p>【費用対効果分析における特記事項】</p> <p>直接利用価値：利用者が、公園を利用するために支払う移動費用と利用料金により算定される価値  間接利用価値：緑地と広場が存在することで、環境・防災面に役立つ価値  緑地面積の考え方  「公園整備完了後の緑地面積」から「公園整備着手前より公園整備区域内に存在する宇部市が保有する樹林地(保安林)等の面積」を控除した面積を採用する。</p>	区分	主な項目	再評価時 (基準年：H24)	再評価時 (再々評価)		備考	全体事業費 (基準年：H29)	残事業 (基準年：H29)	便益 (B)	①直接利用価値便益	59,164	124,744	1,125		②間接利用価値便益	55,976	69,639	272		③料金収入便益					④その他の便益			-49		総便益	115,140	194,383	1,348		費用 (C)	①事業費	32,363	40,427	999		②維持管理費	28,520	38,029	237		③その他					総費用	60,883	78,456	1,236		費用便益比 (B/C)		1.9	2.5	1.1		大項目評価  Ⓐ ・ B ・ C
	区分	主な項目				再評価時 (基準年：H24)	再評価時 (再々評価)		備考																																																							
全体事業費 (基準年：H29)			残事業 (基準年：H29)																																																													
便益 (B)	①直接利用価値便益	59,164	124,744	1,125																																																												
	②間接利用価値便益	55,976	69,639	272																																																												
	③料金収入便益																																																															
	④その他の便益			-49																																																												
	総便益	115,140	194,383	1,348																																																												
費用 (C)	①事業費	32,363	40,427	999																																																												
	②維持管理費	28,520	38,029	237																																																												
	③その他																																																															
	総費用	60,883	78,456	1,236																																																												
費用便益比 (B/C)		1.9	2.5	1.1																																																												
(3) 事業の進捗状況及び今後の見通し	貨幣価値化困難な便益	<p>【プラス 要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・彫刻展等による地元経済効果 日常的な利用だけではなく、「緑と花と彫刻のまち」として、「彫刻展」や「サマーフェスタ」等、公園施設を利用した様々なイベントを開催しており、遠方からの来園者もあることから、市内の観光施設への誘致や飲食等の地元経済の効果が期待できる。</li> <li>・交通事故減少効果 児童の交通事故原因の一つとして、安全で快適な遊び場及び運動広場の不足があげられている。本公園の東側近隣地区には、常盤小学校があるととも、常盤台地区等の集合住宅団地が広がっており、同様の問題があることから、本公園内の広場等の活用することにより、路上遊戯等による交通事故の防止が図られる。</li> </ul> <p>【マイナス 要因】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント開催時の騒音による周辺住民への影響</li> <li>・大規模イベント開催時における周辺地域の渋滞に伴う損失</li> </ul>																																																														
	事業進捗の現状	<p>事業全体の進捗状況：92%  うち用地補償 91% (未買収地約2.7ha)  うち工事 93% (残事業：ピオトープ池、森の中の彫刻展示場、園路等)</p>	大項目評価  Ⓐ ・ B ・ C																																																													
	事業進捗の今後の見通し	<p>今後の公園整備については、スポーツ広場、緑と花と彫刻の博物館、周遊園路等、順次整備を進め、ピオトープ池の整備や森の中の彫刻展示場、四季折々の花が楽しめる花壇等の整備を行うとともに、防災公園としての機能強化に努め、更なる公園機能の充実を図る。</p>																																																														
	事業計画変更の必要性	<p>【事業計画変更の必要性の有無】 (有) 無</p> <p>【事業計画変更の理由及び内容】  平成28年2月に「ときわ公園活性化基本計画」を改定し、新たに事業として、ピオトープ池や花木の植栽等の整備を位置づけている。これらの新たな整備等に伴い、事業費の増大、事業期間の延伸をおこなう。</p>																																																														

2 再評価の視点	(4) コスト縮減・代替案等の可能性	<p>【コスト縮減の検討状況】 他事業の建設発生土を本工事への流用することによる建設費の縮減を図る。また、公園内の行事として人生記念植樹を行い、これまでに桜、カエデ、ツバキなど約1,500本を市民からいただいた寄付で苗を購入し、市民の手によって植えており、苗代・植栽費等のコストの縮減を図っている。</p>	<table border="1"> <tr> <td>中項目 評価</td> <td>大項目 評価</td> </tr> <tr> <td>(a) b</td> <td>(A)</td> </tr> <tr> <td>中項目 評価</td> <td>B</td> </tr> <tr> <td>(a) b</td> <td>C</td> </tr> </table>	中項目 評価	大項目 評価	(a) b	(A)	中項目 評価	B	(a) b	C
	中項目 評価	大項目 評価									
	(a) b	(A)									
中項目 評価	B										
(a) b	C										
代 替 案	<p>【代替案の検討状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ピオトープ池は水路沿いにホタルが生息し、かつて水田だった湿地には多くの動植物が生息する環境があり自然度の高い環境が残っているため、現在地で整備することが最適である。</li> <li>・森の中の彫刻展示場は、既存の彫刻野外展示場に加えて、樹木の中の展示場を整備し、彫刻の魅力と、自然環境の魅力の融合を図り新しい企画展示空間を創出できる。</li> </ul> <p>以上のことから、代替案の検討の余地はない。</p>										
(5) 環境への影響と配慮	<p>【環境への影響事項：動植物、地形・地質、歴史文化、景観等の状況】 宇部市環境基本計画<sup>*7</sup>（H28.12）の中で、常盤公園の整備においては、鳥類をはじめとする動物の生息環境の保全と向上に留意するとされている。</p> <p>【環境への配慮】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・湿地の保全、下草を残すなど、鳥類等の保全に努めている。</li> <li>・園路舗装の一部においては、間伐材を利用したウッドチップ舗装<sup>*8</sup>を採用しており、維持管理についても、園内で発生した刈草を堆肥化し、活用することとしている。</li> </ul>	<table border="1"> <tr> <td>大項目 評価</td> </tr> <tr> <td>(A)</td> </tr> <tr> <td>B</td> </tr> <tr> <td>C</td> </tr> </table>	大項目 評価	(A)	B	C					
大項目 評価											
(A)											
B											
C											
(6) 地域の立地特性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都市計画区域（公園）</li> <li>・風致地区</li> <li>・常盤鳥獣保護区（特別保護地区）</li> </ul>										
3 対応方針	総合評価	<p>● 継続                      ○ 見直し継続                      ○ 中止</p>									
	評価理由	<p>常盤公園は宇部市の市街地の東部に位置しており、多様なリクリエーションの場として計画されたものであり、市民の憩いの場として親しまれています。また、「緑と花と彫刻のまち」のシンボルとして広大な自然を残している総合公園であり、日本一の自然体感テーマパークを目指して、多様な資源や人が連携しながら、新たな魅力を創りだし、人が集い、安全・安心に利用できる公園とするため、スポーツ広場、緑と花と彫刻の博物館、周遊園路、ピオトープ池、四季折々の花が楽しめる花壇等の整備を順次行う必要がある。また、防災公園としての機能強化に努めた更なる公園機能の充実を図る必要がある。</p> <p>以上のことから、事業を継続し、整備を進めていく必要がある。</p>									
	備 考										

用語説明

- ※1 ピオトープ池：生物が自然な状態で生息している空間に整備した池
- ※2 世界かんがい施設遺産：建設から100年以上経過し、かんがい農業の発展に貢献したもの、卓越した技術により建設されたもの等、歴史的・技術的・社会的価値のあるかんがい施設
- ※3 次世代エネルギーパーク：再生可能エネルギーをはじめとした次世代のエネルギーに、実際に国民が見て触れる機会を増やすことを通じて、地球環境と調和した将来のエネルギーの在り方に関する理解の増進を図る計画を、経済産業省が認定するもの。
- ※4 ときわ公園緑と花の計画：市民とともに、ときわ公園の豊かな自然環境を保全・再生しながら、新たな緑と花の創出を計画的に進めるための指針
- ※5 宇部市観光戦略アクションプラン：本市の観光施策について、これまでの市民・観光関連団体・民間事業者などと連携した施策をベースに、今後の観光振興を戦略的に推進するための行動計画
- ※6 ときわ公園活性化基本計画：常盤公園を利用者にとって魅力ある公園として継承し、新たな魅力を創りだし、賑わいの創出を図る指針
- ※7 宇部市環境基本計画：「環境共生都市」の実現に向けて、本市の環境保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための指針
- ※8 ウッドチップ舗装：間伐材等の木材チップを破碎したウッドファイバーと温硬化型ウレタン樹脂を現地では練りした後、敷きならし、締固めた舗装

# 常盤公園 都市公園事業

